

「川内川水害に強い地域づくりの更なる推進のための取組方針」の
進捗状況と今後の取組内容等

1) ハード対策

- ①危機管理型ハード対策
- ②CCTVカメラ等の整備・HP等での情報提供の拡充（河川事務所）
- ③防災行政無線の拡充（市町）

2) ソフト対策

- ①ハザードマップの作成（市町）
- ②気象情報の発信内容の改善（气象台）
- ③市町等による災害に係る情報提供メール配信の整備（市町）
- ④水防災教育の推進（市町、河川事務所）
- ⑤地域住民を対象とした水防災学習会の開催（市町、河川協力団体）
- ⑥国・県による出前講座の実施（国・県）
- ⑦自治会・自主防災組織単位での防災講座、避難訓練の実施（市町・自治会）
- ⑧マスコミとの勉強会（国）
- ⑨タイムラインの作成（市町・国）
- ⑩タイムラインに基づく避難訓練の実施（市町）
- ⑪要配慮者支援計画の作成等（市町）
- ⑫水防資機材の備蓄・効率的活用（市町・県・国）
- ⑬ボランティア受け入れ体制、業界団体等との協力体制確立（市町・県・国）
- ⑭水害リスクの高い箇所の共同点検（市町・県・国）
- ⑮大規模出水時における排水計画の作成（市町・国）

取組方針の進捗管理表(集計項目一覧)

	H29年度協議会フォローアップ内容	実施機関	取組状況	
			取組の現状、課題	今後の予定
	ハード① 危機管理型ハード対策	川内川河川事務所	概ね5カ年(H32まで)で実施する箇所について、順次整備を進めている。	概ね5カ年(H32まで)で実施する箇所について、順次整備を進めていく。
ハード対策	ハード② CCTVカメラ等の整備・HP等での情報提供の拡充(河川事務所)	川内川河川事務所	・CCTVカメラ等の整備を適宜行うとともに、検討した結果等を踏まえ、HP等で提供している情報について拡充を図る。 ※新川内川AP 1.3)① ハード① ・【国】CCTVカメラ映像のHP等での情報提供拡充を検討中。	【国】新たにCCTVカメラ3期を整備中。CCTVカメラ映像のHP等での情報提供拡充を今年度以降実施予定。
	ハード③ 防災行政無線の拡充(市町)	薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市	・各市町で整備している防災無線等住民に情報と伝達する手段について、現状を確認し、拡充の必要等を踏まえ検討。 ※新川内川AP 1.3)② ハード② ・【薩摩川内市】各戸配布(整備)済。 ・【さつま町】H30年度までに防災行政無線のデジタル化を行い、各戸配布予定(自治会未加入世帯まで含めて配布)。 ・【伊佐市】H34年度防災行政無線アナログ終了に伴い今後デジタル化予定。 ・【湧水町】吉松地区の防災行政無線がアナログのためH34年度までにすべてデジタル化整備予定。 ・【えびの市】屋外拡声器による放送整備済。難聴地域には個別受信機を配布済。デジタル化済。	・【薩摩川内市】各戸配布(整備)済。 ・【さつま町】H30年度までに防災行政無線のデジタル化を行い、各戸配布予定(自治会未加入世帯まで含めて配布)。 ・【伊佐市】H34年度防災行政無線アナログ終了に伴い今後デジタル化予定。 ・【湧水町】吉松地区の防災行政無線がアナログのためH34年度までにすべてデジタル化整備予定。 ・【えびの市】屋外拡声器による放送整備済。難聴地域には個別受信機を配布済。デジタル化済。
	ソフト① ハザードマップの作成(市町)	薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市	・ハザードマップの見直し等を踏まえ、必要に応じて広域避難等も考慮した避難計画等を検討。 ※新川内川AP 1.1)② ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の好評を受け、現在公表しているハザードマップについて、適宜見直す。 ※新川内川AP 1.1)③ ソフト① ・【薩摩川内市】H23・24年度にL1(計画規模)のハザードマップを作成。 ・【さつま町】H28年度にL2(想定される最大規模)で作成済。 ・【伊佐市】H28年度にL1(計画規模)のハザードマップ作成。H29年4月配布。 ・【湧水町】H27年度にL1(計画規模)作成。H28年度配布済。 ・【えびの市】H24年度にL1(計画規模)作成配布済。	・【薩摩川内市】H29年度にL2(想定される最大規模)のハザードマップを作成する予定。 ・【さつま町】L2のハザードマップはH29年5月梅雨時期前までに配布予定。 ・【伊佐市】今後、L2(想定される最大規模)の浸水想定区域図を基にハザードマップを作成し配布していく。 ・【湧水町】今後、L2(想定される最大規模)のハザードマップを作成し配布していく。 ・【えびの市】今後L2(想定される最大規模)のハザードマップを作成予定。
	ソフト② 気象情報の発信内容の改善(気象台)	鹿児島地方気象台 宮崎地方気象台	・危険度の色分け等、水害時の情報入手のしやすさをサポート。 ※新川内川AP 1.1)⑤ ソフト② ・【鹿児島県】及び【宮崎県】 気象庁では雨による災害発生の危険度の高まりを評価する技術(土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数)を活用して、大雨・洪水警報及び大雨特別警報を改善するとともに、「大雨警報(浸水害)の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」の提供を開始する。気象庁HPで一般に公開する。	・【鹿児島県】及び【宮崎県】 気象庁では雨による災害発生の危険度の高まりを評価する技術(土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数)を活用して、大雨・洪水警報及び大雨特別警報を改善するとともに、「大雨警報(浸水害)の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」の提供を開始する。気象庁HPで一般に公開する。(平成29年7月上旬予定)。
	ソフト③ 市町等による災害に係る情報提供メール配信の整備(市町)	薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市	・市町等による災害に係る情報提供メール配信サービスについて順次実施。 ※新川内川AP 1.1)⑥ ソフト③ ・【薩摩川内市】 ・【さつま町】安全安心情報メール整備済。避難所情報等提供している。 ・【伊佐市】エリアメール整備済。 ・【湧水町】メール配信サービス整備済。(避難勧告、避難指示、台風、警戒本部設置等) ・【えびの市】固定電話、携帯電話に音声配信(NTT緊急通報サービス)を実施。緊急速報・エリアメール整備済。	・【薩摩川内市】今後防災情報システムの検討、整備を実施予定。 ・【さつま町】安全安心情報メール整備済。 ・【伊佐市】エリアメール整備済。 ・【湧水町】メール配信サービス整備済。 ・【えびの市】固定電話、携帯電話に音声配信(NTT緊急通報サービス)を整備済。緊急速報・エリアメール整備済。
	ソフト④ 水防災教育の推進(市町、河川事務所)	薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市 川内川河川事務所	・すでに実施している市町においては、更なる推進を図る。 ・未実施の市町においては、水防災学習に着手。 ※新川内川AP 1.2)① ソフト④ ・【薩摩川内市】H28年度に小学校に試行授業を実施。 ・【さつま町】小学校全校を対象に水防災学習実施。 ・【伊佐市】H29年度試行授業実施に向け調整中。 ・【湧水町】H29年度試行授業実施に向け調整中。 ・【えびの市】試行に向け検討。 ・【国】すでに実施している市町においては、更なる推進を図る。	・【薩摩川内市】今後継続して試行授業を実施予定。 ・【さつま町】今後継続して実施予定。 ・【伊佐市】H29年度試行授業を実施予定。 ・【湧水町】H29年度試行授業を実施予定。 ・【えびの市】今後検討予定。 ・【国】今後継続して実施予定。
	ソフト⑤ 地域住民を対象とした水防災学習会の開催(市町、河川協力団体) ソフト⑥ 国・県による出前講座の実施(国・県) ソフト⑦ 自治会・自主防災組織単位での防災講座、避難訓練の実施	薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市 鹿児島県 宮崎県 鹿児島・宮崎気象台 鶴田ダム管理所 川内川河川事務所	・水害後の早期の復興に向けた、行政、学識者、住民、NPO及び企業等の連携のあり方について検討。 ※新川内川AP 1.2)③ ・国、県が行う出前講座等において、水防災情報の普及・啓発を図る。 ※新川内川AP 1.2)④ ソフト⑤⑥⑦ ・H28.10月に「川内川の『防災・減災』を考えるシンポジウム」開催。 ・H28.12月に「川内川サミット」開催。 ・【薩摩川内市】地域の要望があれば出前講座に出向く。自主防災組織で自主訓練を実施。 ・【さつま町】生涯学習の講座で出前講座を実施。年1回町内一斉防災訓練を実施(自主防災組織ごとに訓練実施を呼びかけている)。 ・【伊佐市】 ・【湧水町】阿波井堰完成で安心しないよう呼びかけ。H28年9月に各自主防災組織、消防団(水防団)を中心に防災訓練を実施するよう計画(台風により中止)。 ・【えびの市】出前講座取組実施。自主防災組織で訓練実施しており、自治会単位、校区単位でH27年に京町校区、H28年加久藤校区実施済。 ・【鹿児島県】県政出前セミナーとして川の役割や防災について出前講座を実施。 ・【宮崎県】出前講座があり、取組を行っている。 ・【鹿児島県】出前講座を実施している。 ・【宮崎県】出前講座を実施している。 ・【国】出前講座等を実施し水防災情報の普及・啓発を図っている。	・【薩摩川内市】今後継続して実施していく。 ・【さつま町】今後継続して実施していく。 ・【伊佐市】今後順次検討実施。 ・【湧水町】今後継続して実施していく。 ・【えびの市】H29飯野地区で自主防災組織による防災訓練実施予定。今後も継続して実施していく。 ・既存の出前講座に水防災も含めて今後も継続して実施していく。 ・【鹿児島県】今後も継続して実施していく。 ・【宮崎県】今後も継続して実施していく。 ・【鹿児島県】今後も継続して実施していく。 ・【宮崎県】今後も継続して実施していく。 ・【国】今後も継続して実施していく。
	ソフト⑧ マスコミとの勉強会(国)	川内川河川事務所 鹿児島地方気象台 宮崎地方気象台	ソフト⑧ ・【鹿児島県】年1回、マスコミ向けに連絡会(出水期前)開催。 ・【国】マスコミとの意見交換会実施。	・【鹿児島県】今後も継続して実施していく。 ・【国】今後も継続して実施していく。
ソフト対策	ソフト⑨ タイムラインの作成	薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市 川内川河川事務所	・避難に着目したタイムライン未策定市町については、タイムラインを策定 ※新川内川AP 2.1)① ソフト⑨ ・【薩摩川内市】H27年度作成済。 ・【さつま町】H25年度作成済。 ・【伊佐市】H28年度作成済。 ・【湧水町】H28年度作成済。 ・【えびの市】H28年度作成済。 ・【国】市町と連携・調整し作成済。	・【薩摩川内市】今後は、訓練等でタイムラインを活用し、必要な改善を実施していく。 ・【さつま町】今後は、訓練等でタイムラインを活用し、必要な改善を実施していく。 ・【伊佐市】今後は、訓練等でタイムラインを活用し、必要な改善を実施していく。 ・【湧水町】今後は、訓練等でタイムラインを活用し、必要な改善を実施していく。 ・【えびの市】今後は、訓練等でタイムラインを活用し、必要な改善を実施していく。 ・【国】今後は、訓練等でタイムラインを活用し、必要な改善を実施していく。
	ソフト⑩ タイムラインに基づく避難訓練の実施(市町)	薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市 川内川河川事務所	・タイムラインを用いた訓練を行い、内容を確認し適宜見直す。 ※新川内川AP 2.1)② ソフト⑩ ・【薩摩川内市】訓練時に実施している。 ・【さつま町】水防演習時に実施している。 ・【伊佐市】H28年度にタイムラインに沿った訓練実施。 ・【湧水町】各種訓練時に実施している。 ・【えびの市】水防演習時に実施している。 ・【国】水防演習時に実施している。	・【薩摩川内市】今後、継続して実施予定。 ・【さつま町】今後、継続して実施予定。 ・【伊佐市】今後、継続して実施予定。 ・【湧水町】今後、継続して実施予定。 ・【えびの市】今後、継続して実施予定。 ・【国】今後、継続して実施予定。
	ソフト⑪ 要配慮者支援計画の作成等(市町) ※「要配慮者施設の避難計画」については先々代川AP取組方針記載なし	薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市	・災害時要配慮者支援計画、水害時住民行動マニュアル及び地域孤立化防止対策について確認を行い、必要に応じて見直し。 ※新川内川AP 2.1)⑤ ソフト⑪ ・【薩摩川内市】 ・【さつま町】災害時要配慮者支援計画策定済。防災点検時に配布。 ・【伊佐市】災害時要配慮者支援計画策定済。 ・【湧水町】災害時要配慮者支援計画策定済。町からの働きかけは現在のところ未実施。 ・【えびの市】災害時要配慮者支援計画作成済。浸水する利用者施設があり、浸水防止に対応した施設に立て直された。	・【薩摩川内市】今後個別支援、説明会を実施予定。 ・【さつま町】今後継続して実施予定。 ・【伊佐市】今後調整しながら継続して実施予定。 ・【湧水町】今後継続して実施予定。 ・【えびの市】今後継続して支援していく。
	ソフト⑫ 水防資機材の備蓄・効果的活用(市町・県・国)	薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市 鹿児島県 宮崎県 鶴田ダム管理所 川内川河川事務所	・出水期前に資機材の確認と、広域利用体制の確認を引き続き行う。 ※新川内川AP 2.2)② ソフト⑫ ・【薩摩川内市】毎年出水期前に水防資機材の確認実施。 ・【さつま町】毎年出水期前に水防資機材の確認実施。 ・【伊佐市】毎年出水期前に水防資機材の確認実施。 ・【湧水町】毎年出水期前に水防資機材の確認実施。 ・【えびの市】毎年出水期前に水防資機材の確認実施。 ・【鹿児島県】毎年出水期前に水防資機材の確認実施。 ・【宮崎県】毎年出水期前に水防資機材の確認実施。	・【薩摩川内市】今後継続して実施する。 ・【さつま町】今後継続して実施する。 ・【伊佐市】今後継続して実施する。 ・【湧水町】今後継続して実施する。 ・【えびの市】今後継続して実施する。 ・【鹿児島県】今後継続して実施する。 ・【宮崎県】今後継続して実施する。
	ソフト⑬ ボランティア受け入れ体制、業界団体等との協働体制確立(市町・県・国)	薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市 鹿児島県 宮崎県 鹿児島・宮崎気象台 鶴田ダム管理所 川内川河川事務所	・業界団体等との協働体制については、協定等を締結し確立を図る。 ※新川内川AP 2.2)④ ・市町が行う地域における防災訓練等について、引き続き継続して実施。 ※新川内川AP 1.2)⑤ ソフト⑬ ・【薩摩川内市】H28年度に商工会議所と社会福祉協議会で協定締結。 ・【さつま町】業界団体等との災害協定あり。 ・【伊佐市】毎年9月の防災訓練に自主防災組織も参加。 ・【湧水町】業界団体との災害協定あり。 ・【えびの市】防災訓練でのボランティア団体との連携。 ・【鹿児島県】業界団体との災害協定あり。 ・【宮崎県】業界団体との災害協定あり。 ・【国】業界団体と災害協定締結。	・【薩摩川内市】今後継続して実施する。 ・【さつま町】今後継続して実施する。 ・【伊佐市】毎年9月の防災訓練に、継続して自主防災組織も参加。 ・【湧水町】今後継続して実施する。 ・【えびの市】今後継続して実施する。 ・【鹿児島県】今後継続して実施する。 ・【宮崎県】今後継続して実施する。 ・【国】今後も継続して実施する。
	ソフト⑭ 水害リスクの高い箇所 の共同点検(市町・県・国)	薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市 鹿児島県 宮崎県 鹿児島・宮崎気象台 鶴田ダム管理所 川内川河川事務所	・出水期前に関係機関参加の下に行う合同巡視(共同点検)を、引き続き実施。 ※新川内川AP 2.2)⑥ ソフト⑭ ・【薩摩川内市】例年出水期前に重要水防箇所等の合同巡視実施。 ・【さつま町】例年出水期前に重要水防箇所等の合同巡視実施。 ・【伊佐市】例年出水期前に重要水防箇所等の合同巡視実施。 ・【湧水町】例年出水期前に重要水防箇所等の合同巡視実施。 ・【えびの市】例年出水期前に重要水防箇所等の合同巡視実施。 ・【鹿児島県】例年出水期前に重要水防箇所等の合同巡視実施。 ・【宮崎県】例年出水期前に重要水防箇所等の合同巡視実施。 ・【鹿児島県】例年出水期前に重要水防箇所等の合同巡視実施。 ・【宮崎県】例年出水期前に重要水防箇所等の合同巡視実施。 ・【鹿児島県】例年出水期前に重要水防箇所等の合同巡視実施。 ・【宮崎県】例年出水期前に重要水防箇所等の合同巡視実施。 ・【国】例年出水期前に重要水防箇所等の合同巡視実施。	・【薩摩川内市】毎年出水期前に合同巡視を実施。 ・【さつま町】毎年出水期前に合同巡視を実施。 ・【伊佐市】毎年出水期前に合同巡視を実施。 ・【湧水町】毎年出水期前に合同巡視を実施。 ・【えびの市】毎年出水期前に合同巡視を実施。 ・【鹿児島県】毎年出水期前に合同巡視を実施。 ・【宮崎県】毎年出水期前に合同巡視を実施。 ・【鹿児島県】毎年出水期前に合同巡視を実施。 ・【宮崎県】毎年出水期前に合同巡視を実施。 ・【鹿児島県】毎年出水期前に合同巡視を実施。 ・【宮崎県】毎年出水期前に合同巡視を実施。 ・【国】毎年出水期前に合同巡視を実施。
	ソフト⑮ 大規模出水時における排水計画の作成(市町・国)	薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町 えびの市 川内川河川事務所	・大規模出水時における緊急排水対策について検討を進める。 ※新川内川AP 3.1)① ソフト⑮ ・【国】排水計画未作成。	・【国】今後、国及び市町等関係機関と調整しながら継続して検討を進める。